

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 93	提案機関名 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
<b>要望問題名</b> 水源林の公益的機能の評価・検証と管理技術の改良	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 水源の森林づくり事業では、水源林の確保が進み、整備による効果も見えてきている。林道から離れているなど資源循環林として維持することが難しい人工林においては、針広混交林化することにより、手のかからない公益的機能の高い森林への誘導を進めているところである。 これまで、水源林の整備によって下層植生が回復し土壌が保全されることは明らかになっており、整備による混交林化への移行に関しては林分構造等のモニタリング調査により現在検証中の段階である。しかし、丹沢山地をはじめとしたシカの影響の大きい地域では、シカの捕獲等の対策も同時に進められており、特に整備による森林生態系の健全化と公益的機能発揮の関係に関しては、これらの対策が全国的にも先進的であるため科学的な知見は乏しい。 このため、平成25年度から開始されたモニタリング調査である森林生態系効果把握調査を継続し、これまでに得られている植物や昆虫に関する整備効果に加えて動物相への整備効果にかかる検証を行い、将来的に森林生態系全体として評価していくための基礎的知見の取得を要望する。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター	<b>担当部所</b>	研究企画部研究連携課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 森林生態系効果把握調査による水源施策の2次的アウトカム（生態系の健全化）の検証			
<b>対応の内容等</b> これまでの森林生態系効果把握調査において、手入れ遅れの人工林の間伐により下層植生の植被率と種数が増加し、それによって一部の昆虫の種数も増加するという結果が得られているが、動物相の調査結果では間伐との関係は明瞭ではなかった。そこで、動物相に関しては調査対象をいったん小型哺乳類に絞り込み、下層植生回復との関係に焦点をあてた調査を行って、間伐による森林生態系全体への影響に関する基礎的知見を蓄積していくとともに、将来的な森林生態系全体の評価につなげていきます。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			